



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月24日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	118,516	2.3	5,844	△2.9	5,659	△6.3	4,274	10.6
24年3月期第1四半期	115,876	2.5	6,021	△2.4	6,039	△0.3	3,863	7.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,775百万円 (△62.5%) 24年3月期第1四半期 4,736百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.85	—
24年3月期第1四半期	8.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第1四半期	517,468		231,004		38.3
24年3月期	512,968		231,512		38.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 198,147百万円 24年3月期 198,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	240,000	△0.5	14,000	△3.9	14,000	△1.6	10,000	19.3	23.05
通期	500,000	2.2	31,500	△0.1	31,500	△0.8	20,000	△12.0	46.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	434,487,693 株	24年3月期	434,487,693 株
25年3月期1Q	715,118 株	24年3月期	713,325 株
25年3月期1Q	433,773,302 株	24年3月期1Q	433,822,669 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
(3)	継続企業の前提に関する注記	9
(4)	セグメント情報	9
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果、企業収益の改善などを背景に緩やかに持ち直してまいりました。一方、海外経済については、欧州債務問題の再燃や中国、インド等の新興国が景気減速感を強めていることから、弱含みの傾向が継続いたしました。特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械・IT関連需要に関しては、自動車関連は堅調な推移を続けてきたものの、産機・IT向けについては海外景気の減速や円高による輸出の停滞等を背景として需要調整局面が長期化しております。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、需要変化に柔軟に対応するとともに本年3月に発表した2014中期経営計画の諸施策に着手に取り組んでまいりました。なかでも中核生産拠点である知多工場に関しては、大型電炉へのリプレース工事を開始し、抜本的なコストダウンと生産能力の強化を目指した戦略投資案件を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、震災直後のサプライチェーン混乱期であった昨年対比で生産・販売数量が増加したこと等から前年同期比26億39百万円増収の1,185億16百万円となりました。一方、経常利益については、IT、産業機械関連で需要調整が継続していること等から、前年同期比3億79百万円減益の56億59百万円、四半期純利益は42億74百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値によっております。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、産業機械向け需要は調整局面にあったものの、自動車関連需要は国内外市場での堅調な販売と震災およびタイ洪水による生産制約が解消したことから概ね堅調に推移いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要動向変化を注視しつつ夏季電力制約や知多工場の大型工事に対応するために生産平準化と備蓄運営を実施し、併せてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、一部鉄スクラップ価格に連動した販売価格の見直し影響があったものの、前年同期比1.0%増加の470億37百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレスおよび高合金製品につきましては、自動車向け需要は日系自動車生産の拡大を受けて堅調に推移したものの、産業機械・IT関連需要は市況の低迷と在庫調整により低位に留まりました。磁材製品に関しては、タイの生産拠点が復旧しHDD用磁石の生産活動を再開いたしました。FAサーボモーター用磁石など産業機械向け製品が調整局面を迎えております。粉末製品に関しては、ハイブリッド車の販売好調などを受けて高水準の需要が継続しておりますが、他方チタン製品に関しては欧州景気の減速とユーロ安による輸出環境の悪化影響を受けております。

その結果、当第 1 四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、需要の調整と一部製品の販売価格がニッケルおよびレアアース価格に連動したことから、前年同期比8.2%減少の380億60百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

産業機械部品関連につきましては、航空機関連需要は堅調なものの、その他の分野では欧州および新興国の景気減速と為替の円高影響を受けております。精密鋳造品につきましては、欧州景気の悪化影響からターボ関連需要が調整局面となっております。一方、型鍛造製品につきましては、自動車各社が震災およびタイ洪水による減産から回復したことと、東南アジア向けトラック需要の拡大により売上高は増加いたしました。

その結果、当第 1 四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比13.6%増加の245億38百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、中国等海外案件の売上寄与と磁石製造関連会社の工場建設工事の進捗により、昨年対比の売上金額は大きく増加いたしました。

その結果、当第 1 四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比72.2%増加の67億16百万円となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、海外商社の需要調整影響等により当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.5%減少の21億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億円増加し5,174億68百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「現金及び預金」の増加30億62百万円…主として利益計上による増加。

また、当社グループの当第 1 四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円減少し2,310億4百万円となりました。純資産額の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「その他有価証券評価差額金」の減少33億66百万円…保有株式の時価の下落による減少。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.3%となり、前連結会計年度末と比べ0.4ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の日本経済は、国内需要が引き続き堅調に推移し、海外景気が底打ちしていくにつれて緩やかな回復軌道へ回帰していくことが期待されます。しかしながら、欧州財政問題に伴う金融不安や中国、インド等の新興国景気の減速懸念、さらには国内の電力供給制約や円高影響など景気が下押しされるリスクも大きく、経済動向に対する不透明感は依然として高くなっております。

特殊鋼の主要需要先である日系自動車産業に関しては、エコカー補助金終了に伴う国内販売の減少懸念はあるものの、新興国需要の拡大を背景として第 2 四半期以降も引き続き堅調に推移すると考えられます。他方、産業機械・IT 関連需要については、海外を中心とした景気動向の影響を大きく受けることから、今後とも需要下振れのリスクに十分留意していく必要があると思われます。また、鉄スクラップ等の主要原材料や原油をはじめとする燃料市況価格については、景気の不透明感を反映して低位に推移しておりますが、投機的資金や景気動向によって大きく変動する可能性があり、今後の動向に留意するとともに、コスト削減努力に注力してまいります。

以上のことから、当期の連結業績につきましては、景気動向に対する減速懸念が見られるものの、自動車関連需要が比較的堅調に推移していること等を踏まえ、売上高5,000億円、営業利益315億円、経常利益315億円、当期純利益200億円の前回（平成24年4月27日）予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,161	65,223
受取手形及び売掛金	102,995	104,704
たな卸資産	90,920	93,018
その他	9,139	9,471
貸倒引当金	△251	△221
流動資産合計	264,965	272,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,669	51,286
機械装置及び運搬具（純額）	62,488	62,435
その他（純額）	43,253	42,726
有形固定資産合計	156,412	156,449
無形固定資産		
のれん	1	22
その他	2,521	2,538
無形固定資産合計	2,523	2,560
投資その他の資産		
投資有価証券	62,021	58,108
その他	27,446	28,553
貸倒引当金	△400	△399
投資その他の資産合計	89,067	86,261
固定資産合計	248,003	245,271
資産合計	512,968	517,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,163	74,267
短期借入金	48,024	47,704
1年内償還予定の社債	800	10,800
未払法人税等	2,004	1,023
賞与引当金	6,713	2,904
その他の引当金	426	184
その他	20,119	29,562
流動負債合計	150,251	166,446
固定負債		
社債	40,100	30,100
長期借入金	66,764	67,182
退職給付引当金	6,799	6,829
その他の引当金	1,315	1,230
その他	16,225	14,676
固定負債合計	131,204	120,018
負債合計	281,456	286,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	126,843	129,382
自己株式	△335	△336
株主資本合計	192,223	194,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,456	3,089
繰延ヘッジ損益	△6	△3
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△1,673	△1,353
その他の包括利益累計額合計	6,430	3,386
少数株主持分	32,858	32,856
純資産合計	231,512	231,004
負債純資産合計	512,968	517,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
売上高	115,876	118,516
売上原価	97,826	100,427
売上総利益	18,049	18,088
販売費及び一般管理費	12,028	12,244
営業利益	6,021	5,844
営業外収益		
受取利息	21	40
受取配当金	532	413
持分法による投資利益	175	189
その他	333	392
営業外収益合計	1,063	1,036
営業外費用		
支払利息	581	542
為替差損	157	293
その他	306	386
営業外費用合計	1,045	1,221
経常利益	6,039	5,659
特別利益		
固定資産売却益	—	1,398
特別利益合計	—	1,398
特別損失		
投資有価証券評価損	8	279
災害による損失	—	125
事業構造改善費用	103	—
その他	5	90
特別損失合計	117	495
税金等調整前四半期純利益	5,921	6,563
法人税、住民税及び事業税	597	864
法人税等調整額	818	865
法人税等合計	1,416	1,729
少数株主損益調整前四半期純利益	4,505	4,833
少数株主利益	642	559
四半期純利益	3,863	4,274

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,505	4,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219	△3,433
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	11	383
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△12
その他の包括利益合計	230	△3,057
四半期包括利益	4,736	1,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,051	1,230
少数株主に係る四半期包括利益	684	545

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への売上高	46,571	41,472	21,593	3,901	2,337	115,876	—	115,876
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,414	3,986	8,708	192	2,063	33,365	△33,365	—
計	64,985	45,459	30,301	4,093	4,401	149,241	△33,365	115,876
セグメント利益	934	3,835	816	87	347	6,022	△1	6,021

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への売上高	47,037	38,060	24,538	6,716	2,162	118,516	—	118,516
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,299	4,210	7,915	404	2,876	32,706	△32,706	—
計	64,336	42,271	32,454	7,120	5,039	151,222	△32,706	118,516
セグメント利益	1,694	2,671	1,139	21	318	5,846	△2	5,844

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第 1 四半期連結会計期間より、会社組織の改定に伴い、報告セグメントを従来の「特殊鋼鋼材」「電子・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「新素材」および「流通・サービス」の 6 区分から、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」および「流通・サービス」の 5 区分に変更しております。

なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第 1 四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足説明資料

平成24年7月24日
大同特殊鋼株式会社

平成25年3月期 第1四半期決算発表

連 結

(1) 当第1四半期のセグメント別売上高
(単位：百万円、%)

	24年6月 (前年同期差)		
	第1四半期	増減額	増減率
特 殊 鋼 鋼 材	47,037	466	1.0
機能材料・磁性材料	38,060	-3,412	-8.2
自動車・産業機械部品	24,538	2,945	13.6
エンジン・エアリンク	6,716	2,814	72.2
流通・サービス	2,162	-174	-7.5
計	118,516	2,639	2.3

(2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)
(単位：百万円、%)

	24年6月 (前年同期差)		
	第1四半期	増減額	増減率
売 上 高	118,516	2,639	2.3
営 業 利 益	5,844	-176	-2.9
営 業 外 収 益	1,036	-26	—
営 業 外 費 用	1,221	175	—
経 常 利 益	5,659	-379	-6.3
特 別 利 益	1,398	1,398	—
特 別 損 失	495	378	—
税 引 前 純 利 益	6,563	641	—
法 人 税 等	1,729	312	—
少 数 株 主 利 益	559	-82	—
当 期 純 利 益	4,274	411	10.6

(3) 当第1四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円) (参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	23年6月 第1四半期	24年6月 第1四半期	
1. 原材料等市況	27	1. 販売価格下落	24	H2 建値 (千円/t)	32.4	24.5
2. 販売数量増加	11	2. 固定費の増加	6	ニッケル(LME) (\$/1b)	11.02	7.78
		3. 変動費悪化	5	モリブデン(MW) (\$/1b)	16.7	13.8
		4. 内容構成差他	5			
		5. 営業外損益	1			
計 (a)	38	計 (b)	41			
		差引 (a) - (b)	-3			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 24年3月末	当第1四半期 24年6月末	増減	科目	前期 24年3月末	当第1四半期 24年6月末	増減
流動資産	264,965	272,197	7,231	負債	281,456	286,464	5,008
現 預 金	62,161	65,223	3,062	営 業 債 務	72,163	74,267	2,104
営 業 債 権	102,995	104,704	1,709	有 利 子 負 債	156,336	156,406	70
た な 卸 資 産	90,920	93,018	2,097	そ の 他	52,956	55,789	2,833
そ の 他	8,887	9,250	362	純資産	231,512	231,004	-508
固定資産	248,003	245,271	-2,731	株 主 資 本	192,223	194,761	2,537
有 形 固 定 資 産	156,412	156,449	37	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計	6,430	3,386	-3,043
無 形 固 定 資 産	2,523	2,560	37	少 数 株 主 持 分	32,858	32,856	-2
投 資 そ の 他 の 資 産	89,067	86,261	-2,805	負債純資産合計	512,968	517,468	4,500
資産合計	512,968	517,468	4,500				